

# 稀代の悪法

## 秘密保護法を成立させな!

秘密保全法に反対する愛知の会 内田隆

安倍政権が10月25日に法案を閣議決定・国会  
上程し、本臨時国会にて成立させようとしている特  
定秘密保護法(秘密保全法)。防衛・外交・特定有害  
活動防止・テロ防止に関する重要な情報を、国や警  
察が一方的に「特定秘密」と指定し、①「漏えい」  
や取得行為に対する厳罰(懲役10年以下)と、②  
情報を扱う公務員・委託業者やその家族への身辺調  
査を行う制度である。しかし何が「特定秘密」かも  
「秘密」で、国や警察による恣意的な運用を防げな  
い。

「特定秘密」を扱う公務員等は、万が一でも特定  
秘密を漏らさないようにしようと、本来公開すべき  
情報まで非公開にしてしまう可能性がある。また、  
市民の側も、特定秘密に触れないようにしようと、  
情報を求める行動が萎縮してしまふ可能性があり、  
マスコミの取材活動も「正当」かどうか国や警察が  
判断することで、萎縮の可能性がある。国会議員す  
ら秘密会へ提供された情報を漏えいすると厳罰に処  
せられ、また国政調査権も機能しなくなるおそれが  
ある。

秘密保護法がない現在でも、情報公開法に基づく

開示請求では多くの防衛・外交・警察情報が非公開  
になっている。これに加え、テロ防止という名目の  
もと、原発情報や東京オリンピック情報など、これ  
まで開示されてきた情報が非公開になるおそれがあ  
る。また、本来、内部の情報を漏えいさせないため  
に組織された陸上自  
衛隊情報保全隊によ  
り、反戦市民活動  
家・ジャーナリスト  
が徹底的に調査され  
ていたことが明らか  
になった。秘密保護  
法ができた場合、法  
律の根拠をもって、  
様々な市民活動を秘  
密裏に調査できるこ  
とになる。

憲法違反のこの法  
律ができる民主主  
義が窒息してしまふ。  
危機感を持った市民  
が各地で学習会・デ  
モを行っている。2  
週間しか募集しなか  
ったパブリックコメ  
ントには9万件以上  
の意見が集まり、う  
ち8割が反対だった。

### 秘密保護法案に危惧

名古屋で集会「情報が隠蔽される」

機密を漏らした公務  
員への罰則を強化する  
特定秘密保護法案に反  
対する市民集会が二十  
七日、名古屋市中区の  
東別院ホールで開かれ  
た。法案の問題点につ  
いて専門家たちが意見  
を交わした。  
第一部は、毎日新聞  
の臺宏士記者が講演。  
潜入取材などが今後規  
制されかねない事態を  
懸念し「国民の知るべ  
き情報が隠蔽されるこ  
とを危惧する」と訴え  
た。



特定秘密保護法の問題点などを語り合うパネ  
リストたち=名古屋市中区の東別院ホールで

だ」と呼び掛けた。  
集会は、弁護士や市  
民の有志らでつくる  
「秘密保全法に反対す  
る愛知の会」が主催  
し、約四百人が参加し  
た。  
名古屋市長東区の男  
性(60)は「話を聞くほ  
ど危険な法案。自分で  
も一人でも多くの人に  
問題点を伝えて、反対  
の世論を盛り上げた  
い」と話していた。  
(中沢誠)

第二部は、名古屋大  
法学研究所の本秀紀教  
授(憲法学)や全国市  
民オンブズマン連絡会  
議の新海聡事務局長も  
交えてパネルディスカ  
ッションを行った。  
本教授は「民主主義  
社会を実効的に運用す

るには知る権利が重  
要。しかし、政府は戦  
争のできる国をつくら  
うと情報を統制し、国  
民を監視する社会をつ  
くらうとしている」と

批判。  
新海事務局長は「法  
案が通っても不当な運  
用がされないように、  
市民が見張り番になっ  
て監視することは必要

(第3種郵便物認可)